認定病院患者安全推進協議会会員病院 各位

認定病院患者安全推進協議会 施設・環境・設備安全部会

安全・安心のための施設・環境・設備の工夫事例 ご提供のお願い

日頃より認定病院患者安全推進協議会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

認定病院患者安全推進協議会 施設・環境・設備安全部会(以下、当部会)は、 施設・環境・設備の視点から患者安全を推進することを目的に活動しています。

当部会では、今年度から新たに「安全・安心のために施設・環境・設備を改修・ 修繕・設置した工夫事例」の収集調査を実施します。

本調査でご提供いただいた事例は今後の部会活動の参考とするとともに、病院名等を匿名化した上で当協議会ホームページ等にて公開する予定です。また、協議会が主催するセミナーで活用させていただく場合があります。

つきましては、ご多用中恐縮ですが、<u>医療安全管理部門や施設課</u>、その他<u>リハビリ科や医療機器を取り扱う部署</u>なども含めて、院内の施設・環境・設備の医療安全に関わる皆様に本用紙 2ページ以降「事例収集の概要・提出方法」を共有・ご確認いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 横森

TEL: 03-5217-2373 FAX: 03-5217-2331 E-mail: p0031_info_psp_office@jcqhc.or.jp

事例収集の概要・提出方法

●事例収集の目的

認定病院患者安全推進協議会 施設・環境・設備安全部会では、2025 年度から安全・安心のために施設・環境・設備を改修・修繕・設置した工夫事例について情報を収集します。

従来の物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例収集では発生したインシデント・アクシデントと発生原因(物的環境)にフォーカスを当て収集をしておりました。

2025 年度から収集する事例につきましては、インシデントを予測、もしくはインシデントが発生した後に**施設・環境・設備を工夫した事例**の収集を行います。**ちょっとした工夫・大がかりな工夫・お金をかけずに行った工夫・お金をかけた工夫、**<u>どのような工夫でも</u>ご提出をお待ちしております。

収集した情報を元に、施設・環境・設備面から患者安全を向上させるために必要な工夫を共 有してまいります。

提供された事例は、匿名の状態にて当協議会ホームページの事例検索サイトにて一般公開 し、どなたでも利用することができる予定です。

また、当協議会が発行する印刷物への掲載や、協議会が主催するセミナーにおいて紹介する 場合があります。

2024 年度まで行っていた物的環境に関連する事例集は以下の URL からどなたでも利用することができますので、併せてご活用ください。

協議会ホームページ URL: https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/

TOP > 活動成果 > 部会でまとめた成果物 > 物的環境に関連する事例集 (上記サイトにて公開している物的環境に関連する事例の一例)



●ご提供いただく事例の範囲

貴院の「<u>※安全・安心のため</u>に施設・環境・設備を改修・修繕・設置した<u>工夫事例</u>」をご提供ください。

※インシデントが発生した後の工夫事例(事後対応による工夫)だけではなく、インシデントを予測した工夫(事前対応による工夫)事例もお待ちしております。

例)

インシデントを予測した工夫(事前対応による工夫):

タイトル	インシデントの内容例	事例の説明
小児連れ去り防止用 非常口開錠警報装置 の設置	乳児や小児が連れ去られる。	小児の連れ去りの防止を目的に、非常口扉が開いた際に警報アラームと場所を特定するランプを 設置した。
事故防止を目的とし たコンセントカバーの 設置	コンセント差込口に紙が差し込まれる。	精神科病棟の共用部分にあるコンセントに、開閉式鍵付コンセントカバーを設置、使用時のみ開錠することとした。

インシデントが発生した後の工夫(事後対応による工夫):

タイトル	インシデントの内容例	事例の説明
内開き専用ドアを両開きにできる設備	片開きドアのトイレ内で意識消失され、前のめりに倒れた状態となり、身体が障害となり、ドアが開かなくなった。	患者がドアを開けれなくなった場合に、外から開けることができるよう、トイレのドア枠を一部脱着可能な枠に変更した。
シャワー室の手摺り設置	患者がシャワーを止めようとした際、 転倒しドアのアクリル板が破損し外 傷を負った。	シャワー室の 3 面に手摺を設置した。特にカラン近くには利き手に関係なく保持できる構造とした。

●ご提供いただくにあたってのご注意

- ① 収集させていただく事例は公開を目的としているため、事前に院内の許可をお取りください。また、ご提供いただいた事例は掲載の同意が得られたものとさせていただきます。 ※院内の手続等で同意書の様式が必要な場合は、お問い合わせ先までご一報ください。
- ② 事例の内容を医療安全管理部門と共有したうえでご提出ください。

●事例提出方法

① Web 上の回答フォームにてご提出ください。

安全・安心のための施設・環境・設備の工夫事例収集ページ

URL: https://questant.jp/g/3J94X6ZR (直接アクセス)

もしくは 協議会ホームページ URL: https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/

TOP > 協議会案内 > お知らせ > 「(施設・環境・設備安全部会)安全・安心のために施設・環境・設備を改修・修繕・設置した工夫事例 ご提供のお願い」

- ② 回答フォームは、1回につき1事例の入力となります。複数事例をご提供いただける場合には、お手数ですが、再度アクセスしてください。
- ③ 募集期間:2025年8月7日(木)~
- ④ ご提供いただきたい内容 (Web 上の回答フォームの設問項目) は、次ページ以降の内容となっております。



ご提供いただきたい内容(回答例つき)

- Q1. 以下の基本情報をご入力ください。
- (①都道府県、②病院名、③ご回答者所属部署、④ご回答者氏名、⑤ご連絡先メールアドレス)
- ① 東京都
- ② 〇〇病院
- ③ 〇〇部
- ④ 機構 太郎
- ⑤ kikoutarou@xxxxxhp.or.jp
- Q2. ご提供いただける事例についてタイトルをご記入ください。
- ■タイトル例1:○○を防止するための○○設備・物品
- ■タイトル例2:○○を補助する○○設備
- ■タイトル例3:○○しやすい○○設備
- ・小児連れ去り防止用非常口開錠警報装置の設置
- ・事故防止を目的としたコンセントカバーの設置
- ・内開き専用ドアを両開きにできる設備
- ・シャワー室の手摺り設置
- Q3. 本事例はインシデントを予測した工夫、インシデントが発生した後の工夫 のどちらに当てはまるでしょうか。
- ☑ インシデントを予測した工夫(事前対応による工夫)
- □ インシデントが発生した後の工夫(事後対応による工夫)
- Q4. Q3 で回答いただいたインシデントがどのようなインシデントか 1~2 行 程度で簡単にご記入ください
 - ※予測したインシデントの内容もしくは発生したインシデントの内容を ご記入ください
- ・乳児や小児が連れ去られる。
- ・コンセント差込口に紙が差し込まれる。
- ・片開きドアのトイレ内で意識消失され、前のめりに倒れた状態となり、身体が障害となり、ドアが開かなくなった。
- ・患者がシャワーを止めようとした際、転倒しドアのアクリル板が破損し外傷を負った。

- Q5. ご提出いただける事例の説明を1~2 行程度で簡単にご記入ください。
- ■説明文例1:患者が転倒しやすい場所のため○○を取り付けた。
- ■説明文例2:スタッフの操作ミスが多いため○○を工夫した。
- ■説明文例3:○○を防止するため○○を除去した。
- ・小児の連れ去りの防止を目的に、非常口扉が開いた際に警報アラームと場所を特定するランプを設置した。
- ・精神科病棟の共用部分にあるコンセントに、開閉式鍵付コンセントカバーを設置、 使用時のみ開錠することとした。
- ・患者がドアを開けれなくなった場合に、外から開けることができるよう、トイレのドア枠を一部脱着可能な枠に変更した。
- ・シャワー室の3面に手摺を設置した。特にカラン近くには利き手に関係なく保持できる構造とした。
 - Q 6 \sim 9.今回の事例に関連した画像データ(JPEG)がございましたらご提供ください。(4点まで投稿可能)。

<画像データの投稿手順>

- ①【画像を投稿する】ボタンをクリック
- ② 画像データ(JPEG)を選択し、【開く】ボタンをクリック 画面上に画像が表示され、「この画像でよろしいですか?」というメッセージが 表示されます。
- ③ 全ての質問に回答後、画面下部の【送信】ボタンをクリック







Q10.Q6~9で投稿していただいた各画像について、短めのコメントをお願いします(例.対策前・後など)

ご入力いただいた個人情報は、当機構の個人情報保護方針に基づき、安全かつ、適正に管理させていただきます。